

□第10期 第3回 外国人市民会議のまとめ

〔日時〕 令和6年（2024年）2月14日（水曜） 午前10時30分から12時

〔会場〕 すこやかプラザ1階 多目的室2

〔出席者(敬称略)〕

委員：李 ナリ、慎 成俊、孫 岩、張 雅斐、鄭 倩、PHAM THUY TRANG、黄 少熙
楊 瑜、LAMA SAROJ、李 霞

事務局：山口人権文化担当理事、堀山市民協働部次長兼人権政策課長、片岡課長補佐、橋田

〔傍聴者数〕 3名

〔会議内容〕

案件1. 前回会議の振り返り

→ 資料1『第10期第2回外国人市民会議のまとめ』を用いて、第10期のテーマ、今後話し合っていく内容、第2回目で出た意見の振り返り。

案件2. 子育て支援センターほっぺの紹介・すこやかプラザの施設見学

→ 資料2『こども支援課 事業紹介』、資料3『令和5年度 とよなか子育て・子育て応援BOOK「みんなで」』、資料4『2023年度版 はぐくみセンター こども総合相談窓口』を用いて、こども支援課職員による、こども支援内容の紹介とすこやかプラザの施設見学。

<主な意見>

- ・委員：娘が小さい頃はすこやかプラザによく遊びに来ていてとても助かっていた。周りの友達が子どもを産んだらこの場所を紹介したいと思う。
- ・委員：すこやかプラザで行っているイベント等はどこで情報発信しているのか。
- 市：広報とよなかやとよなか国際交流センターもすこやかプラザでイベントをしているため、こども園や保健センター、図書館等にチラシを置いている。
- ・委員：くれよん親子教室をすこやかプラザ2階で行っているか、参加するにはどうしたらよいか。
- 市：くれよん親子教室は、子どもの発達が気になる場合、まずは子育て支援センターほっぺに相談してもらえばその後、児童発達支援センターにつなぎ詳細を聞きながら参加してもらおう。
- ・委員：くれよん親子教室の情報は、広報とよなかに載っているか。

→ 市：広報とよなかには載っていない。月に 1 回、子育て支援センターほっぺで「言葉と身体
の相談」で、児童発達支援センターの職員が来て、個別相談を実施している。そこでく
れよん親子教室などの情報を伝えている。「言葉と身体相談」は市のホームページにも
載っている。

市：広報とよなかの一番後ろのページから 1 枚めくったところのすこやかひろばのページに
子育て支援センターほっぺや子ども関係の情報の案内が載っている。

・委員：広報とよなかや市のホームページ以外に、産婦人科などの病院にもこういった情報は置
いているのか。

→ 市：置かせてもらえるところには置いているが、個々の情報は置いていない。

・委員：広報とよなかを読んで妊婦教室など参加できるものにはすべて参加をし、そこまで困る
ことなく子育てを楽しめた。広報とよなかが届いても中身を見ずに捨ててしまう人もい
ると思う。自分で探さなくても病院等の目につくところにあればいいと思う。

→ 市：全戸訪問で、可能であればとよふあみの「母子モ」というアプリをインストールしても
らい、イベント情報を発信しお知らせが届くようにしている。アプリでの発信が一番情
報量が多いため、生後 4 ヶ月の全戸訪問の時に案内している。

・委員：親戚が子どもを産んだが、すこやかプラザの施設を知らなかった。家に訪問するとやは
り家で孤立していた。出産前はいろいろな情報を知っていても、出産するとそれどころ
ではなくなり、記憶から抜けてしまう。施設の紹介をした後、実際にすこやかプラザに
行ったそうで、ほかの母親とも話ができて気分転換になったと言っていた。いろいろな人
がもっと豊中市の施設の事を知り、気軽に行けるようになればいいと思う。

・委員：子どもが幼い時は、すこやかプラザの 2 階にプレイルームがあることを知らなかった。
たまたま近所の日本人の母親に誘われて施設の事を初めて知った。当時は日本語がうま
く話せず、一緒に遊んでいる時も言葉がわからないことにより壁を感じた。気軽に外国
人が施設に行けるように、月に一回外国人の母親と子どもが集まれる居場所を作っては
どうか。

・委員：6 年前にはじめて豊中市に来た。日本語が全然わからない時にすこやかプラザの 2 階で社
会福祉協議会の支援を受けて、とても助けられた。一時間 800 円で毎週家に来てくれて

家事等を助けてもらった。

- ・委員：社会福祉協議会のことは今日初めて知った。もっと社会福祉協議会のことを発信できたらいいなと思う。

→ 市：こども支援課の取組みで社会福祉協議会が受託している「ファミリーサポートセンター」というものがあり、依頼者と援助者がマッチングして1時間800円で支援を受けられる事業の事だと思う。

- ・委員：登録しておけば手伝いに来てもらえるし、こちらも援助者として手伝いに行けるということか。

→ 市：はい。

- ・委員：探せばとても素晴らしいサービスがあるとわかるが、知らない人が多く残念に思う。どうしたら多くの人に情報がいきわたるか考えていくべき。

- ・委員：私も初めてすこやかプラザの2階を知った。昔1階で、健康診査を受けたことはあるが、2階には上がったことがなかった。今日初めて訪れてとてもいい場所だと思った。庄内コラボセンター「ショコラ」もそうだが、施設がとても良くても行くきっかけや機会がないとわざわざ行かないと思う。とてもいいサービスもたくさんしているのに、知らない人が多くとてももったいないと思う。

また、市のホームページに細かく載っていても、どのような活動かわからないことから、参加をためらう人もいると思う。写真などを掲載してSNSを通じてイベントの報告や宣伝をしていくべきだと思う。

- ・委員：子どもを育てやすい施設だと思う。多くの人に情報がいきわたるようにしていく必要がある。

- ・委員：子育てに関する相談はあると思うが、産む前の相談等もあるのか。

→ 市：「プレママ・パパあつまれ」という事業があり、そこで相談を受けている。

- ・委員：私も両親教室に参加したことがあり、出産予定日が近い人たちが10人程度集まって、出

産前から友達になり相談し合っていた。出産後も集まったりしていた。そういった情報があれば、日本人、外国人関係なく心強いつながりが出来て子育てを楽しめると思う。両親で参加できるいいプログラムがあるのに知らない人が多く残念に思う。

・委員：子育て世帯訪問支援事業はお金がかかるのか。

→ 市：育児支援家庭訪問の保育士が母親の相談を受けるのは無料である。

・委員：私は妊婦時から広報とよなかが届いたら必ず読んでフルに活用していた。子どもが何人かいると公園などでは長時間いれないが、すこやかプラザなどの施設があると安心して長い時間過ごせた。

より多くの人に子育て施設やイベントの情報が広まればいいと思う。

・委員：転入時必ず市役所に行けなければならないため、市役所に来たとき子育て支援場所や子どもの遊ぶ場所、日本語が勉強できる場等を最初から伝えておくといい。最初に中国から来た時も半年以上たってから日本語教室を知り、もっと早く知りたかったと思った。

→ 市：外国人の人には、とよなか国際交流センターからもらっている Line アカウントの追加や日本語教室などの情報を必ず渡すようにしている。生後 4 か月児健診の時も必ず情報を渡すようにしている。

・委員：生後 4 か月の赤ちゃんの時に来ても忙しくて、子どもを連れて外に出ようという気持ちにもなれていない。情報を聞いてもそれどころではなく、忘れてしまう。外国人に「とよなか子育て・子育て応援 BOOK みんなで」のような冊子を渡しても、日本語ばかりでわからない。もっとわかりやすい工夫があれば、より活用できると思う。

案件 4. その他

→ 次回の会議の日程調整について説明。